

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 11月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |                   |                                       |  |            |
|----------|------|-------------------|---------------------------------------|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題      | 目標                                    | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 2    | ○事業所と地域のつきあい      | 地域で暮らし続けるための基盤づくりに向けて積極的ネットワークづくりを図る  | ①地域との交流の輪を広げていく<br>:町内会に加入し回覧板を介して親交を図る。地域の行事や奉仕活動への職員の参加により孤立化を防ぐ。<br>②近隣小学校の体験学習を受け入れる<br>③傾聴ボランティア等を受け入れる | 12ヶ月       |
| 2        | 16   | ○災害対策             | 地域住民参加の避難訓練の実施<br>災害時の非常食、飲料水、毛布等の備蓄。 | 運営推進会議等を活用し、事業所が計画した避難訓練に地域住民の参加要請を行う。事業所独自に非常食や飲料水、毛布等の物品の備蓄の準備。  | 12ヶ月       |
| 3        | 6    | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 | 全スタッフに対する制度の理解と活用のための学習機会づくり          | パンフレット、マニュアルなど、資料の更新と整備を行う。事業所内で、定期的な学習会を開催する。   | 6ヶ月        |
|          |      |                   |                                       |  | ヶ月         |
| 5        |      |                   |                                       |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。